

あの野菜にも

あの果樹にも

色々な作物の味方!!

オレート

殺虫剤

® 農林水産省登録
第18249号

液剤



®はOATアグリオ(株)の登録商標



5つの特長

害虫対策

害虫に対する作用機作は、気門封鎖による窒息死です。

病気対策

うどんこ病に対する作用機作は、細胞膜破壊によるものです。

有効成分

有効成分であるオレイン酸ナトリウムは、食品添加物に指定されている成分です。

収穫前まで使用

収穫の前日まで使用できます。

有用生物も安心

環境や天敵、ミツバチなど有用生物に対する影響が少ないです。

ヨナヅラミ・アブラムシ 撃退!!!

害虫だけでなく **うどんこ病** も

適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (10a当り)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	オレイン酸ナトリウムを含む 農薬の総使用回数
なし	アブラムシ類	100~200	200~700ℓ	発生初期~ 収穫前日まで	—	散布	—
果樹類 (なしを除く)		100					
野菜類 (いちごを除く)	コナジラミ類	100~300	100~300ℓ				
	アブラムシ類	100					
いちご	コナジラミ類	100~300		100	発生初期~収穫前日まで		
	アブラムシ類	100			発生初期~ 収穫前日まで		
	うどんこ病						
きく	アブラムシ類	100	100~300ℓ	発生初期~ 収穫前日まで	—	—	
ばら							

※2024年4月現在の登録内容

上手な使い方

- うどんこ病に対しては、細胞膜破壊による治療効果により効果を発揮します。従って、うどんこ病発生初期より直接うどんこ病発生部位への散布が効果的です。また、発生の多い場合は5~7日の間隔で連続の散布を行ってください。
- 殺虫作用は、害虫の気門封鎖による窒息死によるものです。害虫に直接薬剤が付着するよう散布してください。また、害虫の発生が多い場合は、5~7日の間隔で連続の散布を行ってください。
- ミツバチ、マルハナバチに対して、散布液乾燥後の影響はありません。また、天敵昆虫に対しては導入前の散布が安全で効果的です。

使用上の注意事項

- ① 使用量に合わせ薬剤を調剤し、使いきってください。
- ② 本薬6~7枚期までの散布は薬害の生じるおそれがあるのでさけてください。
- ③ 高温時の散布は薬害の生じるおそれがあるのでさけてください。
- ④ 散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候を見極めてから散布してください。
- ⑤ アルカリ性剤のため、他の薬剤との混用または近接散布には注意してください。
- ⑥ 病害虫の発生が多い場合は効果が十分に発揮されないこともあるので、5日前後の間隔で連続散布してください。
- ⑦ 薬害のおそれがあるので、周辺の作物にかからないように注意してください。
- ⑧ 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- ⑨ 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- ⑩ 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- ⑪ 危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意してください。

貯蔵上の注意事項

- ① 火気をさけ、食品と区別して、直射日光が当たらない低温で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。
- ② 低温期には凝固することがありますが、融解後の成分に影響はありません。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。● 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。● 防除日誌を記帳しましょう。

取り扱い